

平成 27 年度 岩船郡・村上市算数部 活動報告

部長 児玉 泰裕

1 研究主題

算数科において、思考力・判断力・表現力を育成するためには、どのような課題や教材が有効であり、どのような授業展開が効果的なのか。

2 研究の概要

- 4月28日 第1回算数部会
- 8月21日 第2回算数部会 算数科授業研修会 講演・模擬授業
(講師：田上町立田上小学校 教頭 平山 誠 様)
- 10月19日 代表部員会 第3回算数部会時の公開授業指導案検討
- 11月11日 第3回算数部会 (保内小校内研修) 公開授業・授業研究協議会

3 研究の実際

- (1) 8月21日算数科授業研修会 (講演・模擬授業 平山 誠 様)

- ア 思考力・判断力・表現力を育成するためには→授業力の向上が不可欠である。
- イ 授業力の向上には→子どもたちに問題意識をもたせ、魅力ある授業を構成する。
- ウ 授業の7割を決めるのが「課題」の善し悪しであり、一人もドロップアウトさせない学習システムの構築が必要である。
 - ① 教師は、子どもが考えたいような課題を設定する。
 - ② 子どもに話し合わせる時間を十分に与え、意見を言わせる。
 - ③ 意見を意図的に取り上げながらねらいに迫る。

上記の過程を踏まえ、思考力・判断力・表現力を育成していくことが大切である。子どもが課題に正対して自己内対話を繰り返すような課題でなければ、思考力や判断力、表現力は育っていかない。

- (2) 保内小校内研修 (公開授業 田澤 葉月教諭 1年「ひき算」)

- ア 課題設定の工夫 (子どもにとって問いを生ませるための働きかけの手だて)
- イ 思考力、表現力を育成するための算数的活動 (ワークシート、ブロック操作)
- ウ 表現力を育成するための共同説明 (ペアでの発問や問い返し)

4 成果と課題

○ 成果

今年度の研究において明確になったことは「課題の大切さ」である。講演の中で教えていただいた「子どもに問いを生ませるような課題提示」について、具現化を目指したのが田澤教諭の授業である。田澤教諭は、1年生「ひき算」の学習にあたり、誕生日ケーキを使って減加法から減々法を意識させることで子どもにズレを生ませる課題設定を行った。教師が子どものレディネスを踏まえ、子どもに必要感をもたせながら、どのようにアプローチしていくと子どもの問いが生まれるかを研修することができた。

○ 課題

算数部の研究主題である思考力・判断力・表現力を、何を通してどのようにつけていけばよいのかということを十分に明らかにすることができなかった。しかし、教師自身がその単元の本質を見極め、その本質を子どもたちに理解させていくために、どのような課題や教材を提示すればよいのかという道筋は明らかになってきた。また、話し合いのさせ方、考えの記述の仕方という手法ではなく、学習を支える子どもの「～したい」という問題意識をもたせることができて初めて、思考力・判断力・表現力を育てることができるということを、部員が共通理解することができたと考えている。